

## 1. 本県周辺海域の概況(6/20現在)

- ・今月の海況の概要は図1のとおりです。
- ・暖水域が岩手県から宮城県海域に分布し、特に金華山沿岸域に強く波及しています。
- ・黒潮の流型はN型(直進流路)です。流路は房総半島の南で北東に向きを変え、北緯37度、東経143度30分まで北上していると推測されます。
- ・NOAA人工衛星水温画像から判断すると、北部海域に潮目が形成されており、北側はやや低めの模様です。

## 2. 海洋観測結果(6/14~6/17:いばらき丸)

- ・水温を図2~図5に、水温前月差を図6~図7に、平年偏差を図8~図9に、塩分濃度を図10に示しました。
- ・水温の鉛直分布は弱い躍層がみられました(図11)。前月と比べると北部海域を中心にして大幅に降温しました(図12)。これは前月にあった強い黒潮系暖水の波及が弱まったためと考えられます。また、平年と比べると、沿岸域では「高め」、沖合域では「平年並み」となりました(図13)。
- ・北部海域の塩分は、前月は34.5PUS以上の高い濃度が広く分布していましたが、今月は解消しました(図14)。
- ・沿岸域の流れは北部域で真潮、南部海域で逆潮でした。東経141度30分付近は全域で逆潮でした(図15)。

## 3. 今後の1カ月の見通し

- ・黒潮の流型はN型基調で推移するでしょう。
- ・黒潮の北限緯度は現在よりも南に移動し、暖水の影響は徐々に弱まるでしょう。親潮系冷水の影響は弱いでしょう。
- ・気温の上昇によって海面付近の水温は上昇するでしょう。一方で、下層は現状並みで推移するでしょう。上層と下層の間に水温躍層が形成され始めるでしょう。
- ・水温を平年と比べると、沿岸域は概ね「平年並み~高め」で推移するでしょう。

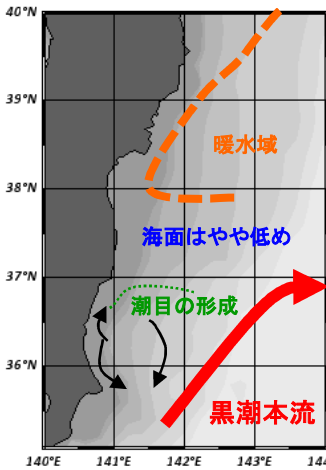


図1 海況の概要

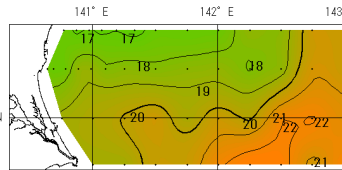


図2 海面水温(°C)

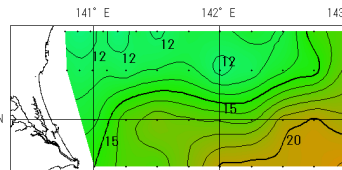


図3 50m深水温(°C)

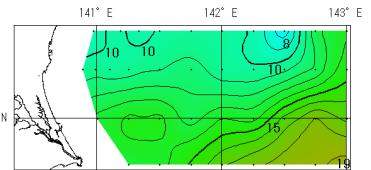


図4 100m深水温(°C)

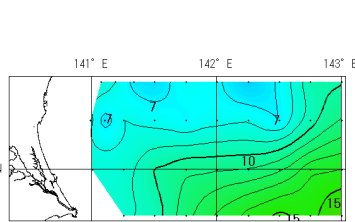


図5 200m深水温(°C)

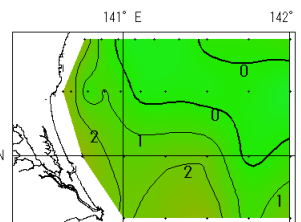


図6 海面水温前月差(°C)

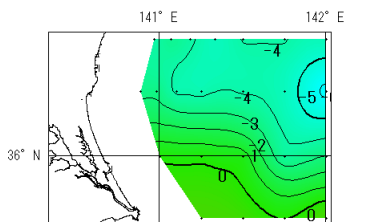


図7 100m深水温前月差(°C)

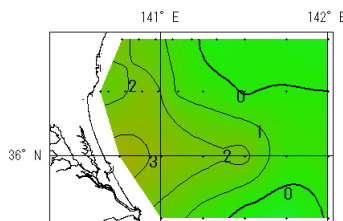


図8 海面水温偏差(°C)

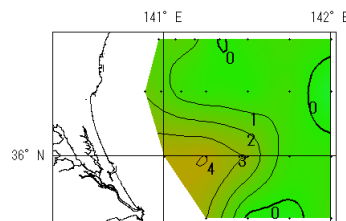


図9 100m深水温偏差(°C)

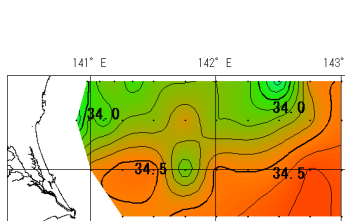


図10 100m深塩分(PUS)

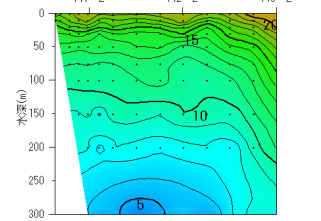


図11 犬吠埼沖鉛直水温(°C)

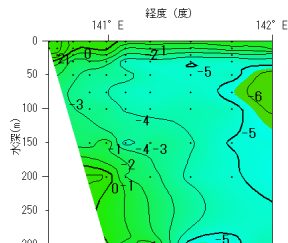


図12 大洗沖鉛直水温前月差(°C)

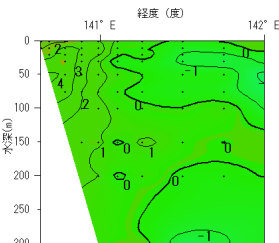


図13 大洗沖鉛直水温偏差(°C)

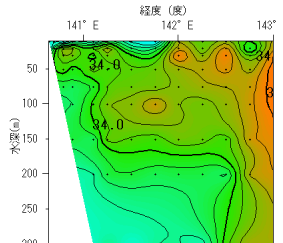


図14 大洗沖鉛直塩分(PUS)

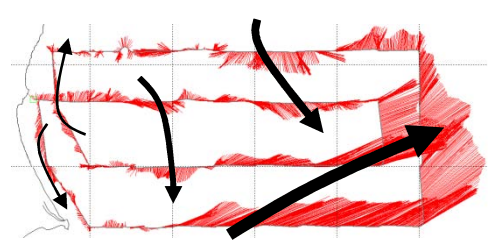


図15 水深20mの流向流速